



2026年 事業・製品 研究・開発

旭化成エレクトロニクス、非接触・カメラ不要の見守りを実現する ミリ波レーダーモジュール「AK5816AIM」を量産開始

評価キットとパートナー連携により、製品開発から量産立ち上げまでを支援

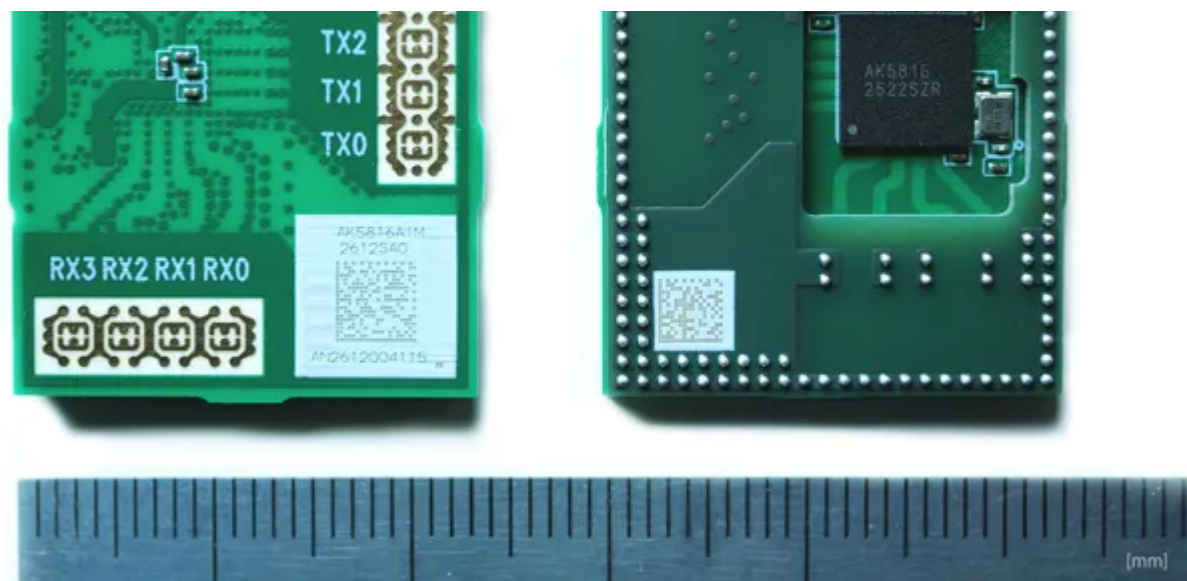
旭化成株式会社 ニュース 2026 旭化成エレクトロニクス、非接触・カメラ不要の見守りを実現するミリ波レーダーモジュール「AK58

2026年7月15日

旭化成エレクトロニクス株式会社

- ・ アンテナ一体型ミリ波レーダーモジュール「AK5816AIM」の量産を開始
- ・ 転倒・バイタルサイン・姿勢・位置をカメラやウェアラブル機器なしで検知
- ・ 浴室・寝室・高齢者向け住宅など、プライバシーへの配慮が求められる空間での見守りに対応

旭化成エレクトロニクス株式会社（本社：東京都千代田区、社長：栗田 直幸、以下「AKM」）は、カメラを使用せずに、非接触で人やペットの状態を把握できるアンテナ一体型ミリ波レーダーモジュール「AK5816AIM」の量産を2026年7月より開始したことをお知らせします。



アンテナ一体型ミリ波レーダーモジュール「AK5816AIM」

背景

近年、高齢化の進展やライフスタイルの変化を背景に、人やペットの見守りニーズが高まっています。カメラを用いる見守り手法には生活空間の撮影に伴うプライバシーへの懸念があり、接触型センサーには装着負担があることから、より安心して利用できる見守り技術が求められています。

こうしたニーズに応える技術として期待されているのが、対象からの反射波をもとに人の存在や動き、呼吸などを検知できるミリ波レーダーです。カメラを使用せず、非接触で状態を把握できる一方、活用にはアンテナ設計や信号処理に高い専門性が求められます。そのため、PoC（概念実証）に至るまでのハードルが高く、その後の製品化・量産化にも進みにくいという課題がありました。

「AK5816AIM」の特長

今回、量産を開始した「AK5816AIM」は、ミリ波レーダーICとアンテナを23mm×23mmの基板に一体化した小型モジュールです。アンテナ設計の負担を低減することで、お客様がレーダーに関する専門知識が十分でない場合でも製品開発を進めやすくします。あわせて、多チャンネル測定と高い角度分解能により、人やペットの位置、動き、呼吸、姿勢などの状態変化を高精度に検知できます。

AsahiKASEI

現在、AKMは2025年9月より提供を開始した評価キット「AIMEZ-V」に加え、ソフトウェアおよびハードウェアの各領域に強みを持つパートナー企業との連携を進めています。エッジAIアルゴリズムに強みを持つ米国Aizip社、人の存在や動き、状態を把握するAI技術を展開するスイスAlgorized社、レーダー信号処理のコンサルティングや開発環境「RadarFlow Studio」を手がける米国Sigma0社、本製品を活用した60GHz帯ミリ波センサーモジュールの開発を進める日清紡マイクロデバイス社などの複数パートナー企業との連携により、用途に応じたカスタマイズから量産設計までを含めた開発支援体制を構築しています。

これにより、お客さまの製品開発から量産立ち上げまでを一貫して支援します。

本製品は、浴室や寝室などカメラ設置が難しい空間での見守り用途に適しており、住宅設備機器やIoT見守り機器、エイジテック関連製品への搭載が期待されます。すでに旭化成ホームズ株式会社が展開するシニア向け賃貸住宅「ハーベルVillage」において、本製品を活用した浴室・居室向けのサービスを開始しました。また今後は、旭化成テクノシステム株式会社との連携を通じて、「AK5816AIM」を用いたセンサー機器の製品開発や事業展開に向けた検討を進めてまいります。



ミリ波見守りソリューション エコシステム

今後の展望

AKMセミコンダクタ^{※1} 社長 Gregg Rouse コメント

「AK5816AIMの量産開始により、カメラレスセンシング技術は新たな段階に入り、日常の生活空間へのさらなる展開が可能になると考えています。2026年1月に米国ラスベガスで開催されたCES[®]※2 2026では、本製品を用いたカメラ不要の転倒検知ソリューションを展示し、多くの来場者から非常に前向きな反響を得ることができました。今後は、重要な技術分野で高い専門性を有するパートナー企業との連携を通じて、本製品を活用したソリューションをはじめ、プライバシーに配慮した見守り機能の普及拡大に取り組んでまいります。」

製品情報およびパートナー企業に関する詳細は、以下のWebサイトをご覧ください。

<https://www.akm.com/jp/ja/products/millimeter-wave-radar/>

※1 旭化成エレクトロニクス株式会社の北米子会社

※2 CES[®] は、Consumer Technology Association (CTA) の登録商標です。

旭化成エレクトロニクス (AKM) について

AKMは日本を拠点とし、旭化成グループの一員として電子部品事業を展開しています。AKMは、磁気センサーに用いられる化合物半導体技術と、シリコン半導体に用いられるASIC／アナログ回路技術を組み合わせることで、独自の製品を提供しています。AKMの独自製品とソリューションは、モバイル通信機器や民生機器、自動車用電子機器、家庭用機器、産業機器など幅広い市場で採用されています。

以上

ニュース一覧へ

イノベーション

IR情報

サステナビリティ

ニュース

Creating for Tomorrow

スポーツ・イベント活動

採用情報

お問い合わせ



ご利用条件

サイトマップ

よくあるご質問

プライバシーポリシー

情報セキュリティポリシー

クッキーポリシー

ソーシャルメディアポリシー